

内視鏡室

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、経営改革推進本部副本部長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)
専門分野:消化管
- 平岡 淳(消化器内科主任部長)
専門分野:肝臓
- 壺内 栄治(消化器内科部長、消化器病センター副センター長)
専門分野:消化管
- 宮田 英樹(消化器内科部長、内視鏡室長)
専門分野:胆・膵
- 多田 藤政(消化器内科部長)
専門分野:肝臓
- 黒田 太良(消化器内科部長)
専門分野:胆・膵
- 大濱 日出子(消化器内科部長)
専門分野:肝臓
- 川村 智恵(消化器内科部長)
専門分野:消化管
- 兼光 梢(消化器内科部長)
専門分野:胆・膵
- 北畑 翔吾(消化器内科医長、IBD センター長)
専門分野:消化管
- 加藤 佳夏子(医師)
専門分野:消化器全般
- 碓井 亨(医師)
専門分野:消化器全般
- 中村 綾花(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 木村 優伽(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 齋藤 舞(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 富増 真知子(看護長)
- 看護師:15名

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	二宮朋之、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、多田藤政、黒田太良、川村智恵、兼光梢、北畑翔吾

3. 運営方針

正確な内視鏡診断を行い、最新で高度な内視鏡治療を安全に行うことを診療方針として、

- (1) 鎮静の導入による苦痛の少ない安全な上部・下部消化管内視鏡検査
- (2) 消化管領域(食道・胃・小腸・大腸)に対する緊急止血術
- (3) 内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術による早期消化管癌の治療

- (4) 胆膵領域や消化管領域の超音波内視鏡を用いたの精査
- (5) 肝胆膵領域における閉塞性黄疸に対する緊急処置
- (6) 胆膵系悪性腫瘍に対するチューブおよびメタリックステント留置
- (7) 呼吸器領域の超音波内視鏡、極細径気管支鏡、局麻下胸腔鏡、硬性鏡での診断と治療
- (8) 新規薬の採用による大腸内視鏡の前処置の負担軽減等を積極的に行っています。

4. 実績

2013年に新病院に移転したことにより、上下部消化管内視鏡室4室に加え、透視併用の内視鏡室2室、緊急内視鏡用検査室1室が設置され、緊急内視鏡検査も受け入れやすくなっています。また、超音波内視鏡装置が最新の機器に更新され、診断能力の向上につながっています。長年の懸案事項でした大腸内視鏡検査の前処置についても前処置室を設け、トイレも7室に増設されたことで、検査前の不安が軽減されました。さらに最近では自宅での前処置を行うことによって、検査の停滞を予防しています。

2021年からは新規にスパイグラス(経口胆道鏡)を導入し、今まで碎石困難であった巨大結石なども内視鏡的に碎石可能となりました。さらに以前では処置困難であった術後の肝内結石に対しても、小腸内視鏡と経口胆道鏡を組み合わせることで碎石可能となり症例が増えています。

外科、病理の医師と共に合同症例カンファレンスを行うことによって、術前診断さらには術式の適正化などを術後病理と照らし合わせることで振り返っています。さらに今後の症例に対しての診療方針等についての検討を行っています。また、専攻医や研修医に対する教育にも力を入れています。

2024年度働き方改革の中で、いかに効率よくかつ安全に内視鏡検査および処置を遂行できるかを検討しながら、内視鏡チームとして取り組んでいます。また、内視鏡システムをこれまでオリンパス社1社で対応してきましたが、新たにフジフィルム社の内視鏡システムを取り入れ、両社の利点欠点を補いながら日々の診療レベルアップに努めていく予定です。

内視鏡処置に関しては、事前に綿密な治療計画を立てることによって、処置に関連するデバイスを厳選し効率的な処置を心がけていきます。

■ 内視鏡検査件数

検査・治療・手術名	症例数
上部消化管内視鏡検査	5,138
下部消化管内視鏡検査	2,545
食道静脈瘤硬化術、結紮術	59
内視鏡的止血術(上部消化管)	56
内視鏡的食道拡張術	45
上部消化管異物除去	15
内視鏡的胃瘻造設術	44
内視鏡的大腸ポリープ切除	825
内視鏡的粘膜下層剥離術(食道)	26
内視鏡的粘膜下層剥離術(胃)	150
内視鏡的粘膜下層剥離術(大腸)	48
内視鏡的大腸止血術	55
上部イレウス管挿入	38
大腸イレウス管挿入	4

大腸ステント留置	55
小腸内視鏡	15
カプセル内視鏡	32
超音波内視鏡(上部・下部)	16
ERCP	659
EST	398
内視鏡的截石術	247
内視鏡的胆道ドレナージ	296
管腔内超音波内視鏡検査(IDUS)	19

5. 2026 年度目標

内視鏡システムをこれまでオリンパス社 1 社で対応してきましたが、新たにフジフィルム社の内視鏡システムを取り入れ、両社の利点欠点を補いながら、日々の診療レベルアップを目標にしています。新たな内視鏡の取り込みよりも確実な内視鏡診断および治療に力を入れます。

6. 学術関係

消化器内科の項参照。